

ScholarOne Manuscripts リリースノート

リリース v4.25

ScholarOne Manuscripts

リリース v4.25 - 発行日: 2019 年 7 月

 **Clarivate**
Analytics

著者



Chris Heid

Product Lead, Publishing & Associations
(製品リード、公開および関連事項)

Chris は、Clarivate Analytics の ScholarOne プラットフォームに関する製品管理を担当しています。これまでのプロジェクトには、査読者検索、発行者レベルのレポートおよび ORCID 統合などが含まれます。



Greg Kloiber

Sr. Product Manager, ScholarOne
(ScholarOne シニアプロダクトマネージャー)

Greg は現在 ScholarOne における A.I. 方針を主導しています。彼の業績には、ORCID サインオン、オーバーリーフ統合、投稿センターや査読センターのリフォームなどがあります。



Sven Molter

Product Manager, ScholarOne
(ScholarOne プロダクトマネージャー)

Sven は、業界で 13 年間の経験を有し、2009 年以来 ScholarOne に携わっています。2018 年には、ScholarOne Abstracts 製品の開発プロセスを主導しました。2019 年には、ScholarOne Manuscripts にデータ抽出を組み込むプロジェクトに取り組んでいます。

以下の機能は、ScholarOne Manuscripts v4.25 でリリースが予定されています。本資料は、各機能のデフォルト設定値に関する情報を記載します。

このリリースには、すべての ScholarOne Manuscripts ユーザーが直接影響を受ける拡張機能や変更が含まれています。リリース前にユーザーに連絡し、影響を受ける可能性のある変更に備えられるようにしてください。その他の機能についてユーザーが新機能の恩恵を受けるためには、管理者や ScholarOne の担当者が機能を有効にする必要があります。

リリースの概略

このリリースの各機能のデフォルトの設定および値を以下に示します。デフォルトのいずれかを変更する場合、[ScholarOne に連絡](#)し、事例を提出してください。

機能	概略
著者選択委譲 E-Mail タグ	<p>V4.25 リリースで、ScholarOne では著者選択委譲に関連する E-Mail タグ機能が拡張されました。この変更は、雑誌の指定管理者の情報を引き出して著者選択委譲を取り巻くコミュニケーションに役立ちます。</p> <p>必要なアクション: 必要に応じて、新たに利用できる E-Mail タグを使用して E-Mail テンプレートを更新します。</p>
CRediT 分類の更新	<p>CASRAI CRediT 分類は v4.24 で ScholarOne Manuscripts に追加されました。「著者と所属機関」ステップの更新により、寄稿宣言がさらに重要になります。</p> <p>必要なアクション: CASRAI CRediT 分類が設定されている場合、アクションは不要です。</p>
E-Mail での GDPR アカウント削除オプション	<p>「ログインしてこのアカウントを削除してください」というメッセージは、アカウントベース E-Mail のフッターにハードコードされます。</p> <p>必要なアクション: デフォルトで利用できます。アクションは不要です。</p>
雑誌の説明タグ	<p>v4.25 リリースには新しい「雑誌の説明」 E-Mail タグが付いています。このタグを使用して E-Mail に雑誌の短い説明を組み込むことができます。</p> <p>必要なアクション: [管理者] > [サイト設定] で雑誌の説明を更新し、必要に応じて E-Mail にタグを組み込みます。</p>
エクスポートでのキーファイルサポート	<p>SFTP を介した ScholarOne エクスポートは SSH キーファイル認証をサポートするようになりました。Atypon では、まもなく、そのシステムへのすべてのエクスポートでキーファイル認証を求められるようになります。</p> <p>必要なアクション: (Atypon クライアントのみ) SSH キーファイルを Atypon から直接要求し、これらのリリースノートに記載されている手順を使用してエクスポートを構成します。</p>

[A.I. ツール \(β 版\) で検出される キーセンテンスとキーワード](#)

論文の選別を行うための β 版プログラムの一環として、著者および編集者には A.I. ツールで検出されるキーセンテンスとキーワードが表示されます。また、A.I. ツールには、A.I. の学習を支援してその成果を向上させるオプションもあります。

必要なアクション: β 版への参加に関心をお持ちかどうかをお知らせください。

[論文詳細リンクの更新](#)

[論文詳細] の下にあるボタンは、最新の HTML リンクとアイコンになりました。

必要なアクション: なし

[Metadata Extraction \(β 版\)](#)

Metadata Extraction β 版、ScholarOne Manuscripts で発売開始。Metadata Extraction では、アップロードされた Word ファイルからタイトル、要旨、キーワード、著者、所属機関、および助成機関を自動的に抽出し、正しいテキスト領域にデータを配置します。

必要なアクション: 設定の更新が必要です。

[Ringgold アラート: 構成オプション](#)

Ringgold 接続アラートは雑誌の設定可能オプションとなるため、Ringgold 接続に無関係の雑誌はシステムに表示される Ringgold アラートを無効にすることができます。

必要なアクション: Ringgold アラートの表示の削除を選択する雑誌は、[管理者] > [サイト設定] で削除できます。

[査読者がユーザー インターフェースの更新を 拒否した](#)

選択、招待、および割り当てプロセスで、査読者を選択できない理由が示されるようになります。

必要なアクション: デフォルトで利用できます。アクションは不要です。

[異常アクティビティ検出ツール](#)

無料の異常アクティビティ検出ツールが次のように更新されました。

- 近接セクションのレイアウトが新しくなり、IP 情報が組み込まれました
- レポートの一番下に「IP アドレス」という新しいセクションを追加しました
- 同じコンピュータセクションからの複数の投稿/査読に詳細が追加されました

必要なアクション: 現在異常アクティビティ検出ツールがない場合は、ScholarOne お客様サポートにご連絡ください。すでに実装されている場合、アクションは不要です。

著者選択委譲 E-Mail タグ

著者選択委譲に関する通信を支援するために、いくつかのタグが追加されました。

##問い合わせ先_雑誌_管理者_連絡_E-Mail##

- E-Mail タグの [著者の委譲選択肢フィールド] セクションに追加されました。
- 問い合わせ先の雑誌の雑誌管理者の E-Mail アドレスを出力します。
- このタグはどのアドレスフィールド（宛先、CC、BCC）でも使用できます。
- 複数入力正しい E-Mail アドレス処理を行うためにカンマで区切られます。

##問い合わせ先_雑誌_管理者_連絡_名前##

- E-Mail タグの [著者の委譲選択肢フィールド] セクションに追加されました。
- 「問い合わせ先」の雑誌管理者連絡先のフルネームとそれに関連付けられた雑誌を出力します。
- 単一の問い合わせ先の雑誌に関する表示: 管理者のフルネーム。
- 複数の問い合わせ先の雑誌に関する表示: 管理者のフルネーム（雑誌名）、管理者のフルネーム 2（雑誌名 2）、管理者のフルネーム 3（雑誌名 3）。

##問い合わせ先_雑誌_管理者_フル_連絡##

- E-Mail タグの [著者の委譲選択肢フィールド] セクションに追加されました。
- 「問い合わせ先」雑誌名、雑誌管理者連絡先名、雑誌管理者連絡先 E-Mail、雑誌連絡先電話番号、雑誌 URL を出力します。
- これらは、著者選択委譲の場合に投稿者に提供される雑誌選択肢から取得されます。
- 単一選択の表示例:
 - 雑誌の名称
事務局連絡先/サイト管理者の名称
事務局連絡先/サイト管理者の E-Mail
事務局連絡先/サイト管理者の電話番号
サイト URL
- 複数選択の表示例:
 - 雑誌の名称
事務局連絡先/サイト管理者の名称
事務局連絡先/サイト管理者の E-Mail
事務局連絡先/サイト管理者の電話番号
サイト URL
 - 雑誌名 2
事務局連絡先/サイト管理者 2 の名称
事務局連絡先/サイト管理者 2 の E-Mail
事務局連絡先/サイト管理者 2 の電話番号
サイト URL2

著者の委譲選択肢フィールド

1. ##問い合わせ先_雑誌_管理者_フル_連絡_作業_と共に_雑誌_説明##
2. ##問い合わせ先_雑誌_管理者_連絡_E-mail##
3. ##問い合わせ先_雑誌_管理者_連絡_名前##
4. ##問い合わせ先_雑誌_管理者_フル_連絡##
5. ##問い合わせ先_雑誌_説明##

##対象_雑誌_管理者_フル_連絡##

- E-Mail タグの [転送文書フィールド] セクションに追加されました。
- 対象雑誌名、雑誌管理者連絡先名、雑誌管理者連絡先 E-Mail、雑誌連絡先電話番号、雑誌 URL を出力します。
- 単一選択の表示例:
 - 雑誌の名称
事務局連絡先/サイト管理者の名称
事務局連絡先/サイト管理者の E-Mail
事務局連絡先/サイト管理者の電話番号
サイト URL
- 複数選択の表示: 解決されません

CASRAI CRediT 分類の更新

[CASRAI CRediT 分類] セクションは、投稿プロセスの「著者と所属機関」ステップにおいてさらに重要になりました。投稿者は、[CRediT 寄稿の入力] リンクから CASRAI CRediT 分類に直接アクセスできるようになりました。

順序	操作	著者	所属機関名
↓ ドラッグ	1	Chen, Lei Tester (連絡責任者)	1. Wuhan Wuhan, HuBei, CN 43000
		* CRediT 寄稿を行う	

雑誌の説明 E-Mail タグ

[管理者]>[サイト設定]に雑誌の説明という新しいフリーテキストフィールドを追加しました。このフィールドには最大 455 文字まで入力できます。このテキストは、##雑誌_説明## E-Mail タグを含むシステム E-Mail に表示されます。問い合わせ先雑誌に雑誌の説明が含まれていない場合、出力には雑誌名が表示されます。

##雑誌_説明##

- 雑誌の説明フィールドに入力されているとおりに雑誌の説明を出力します。

##問い合わせ先_雑誌_説明##

- 問い合わせ先雑誌の説明を以下のように出力します。
- 単一選択の表示:
 - 雑誌名: 雑誌の説明
- 複数選択の表示:
 - 雑誌名: 雑誌の説明
 - 雑誌名 2: 雑誌の説明 2
 - 雑誌名 3: 雑誌の説明 3

##問い合わせ先_雑誌_管理者_フル_連絡_あり_雑誌_説明##

- 問い合わせ先雑誌名、雑誌管理者連絡先名、雑誌管理者連絡先 E-Mail、雑誌連絡先電話番号、雑誌 URL、雑誌の説明を出力します。これらは、著者選択委譲の場合に投稿者に提供される雑誌選択肢から取得されます。
- 単一選択の表示:
 - 雑誌の名前
 - 事務局連絡先/サイト管理者の名前

事務局連絡先/サイト管理者の E-Mail
 事務局連絡先/サイト管理者の電話番号
 サイト URL
 雑誌の説明テキスト

- 複数選択の表示:
 - 雑誌の名前
 - 事務局連絡先/サイト管理者の名前
 - 事務局連絡先/サイト管理者の E-Mail
 - 事務局連絡先/サイト管理者の電話番号
 - サイト URL
 - 雑誌の説明テキスト
 - 雑誌名 2
 - 事務局連絡先/サイト管理者 2 の名前
 - 事務局連絡先/サイト管理者 2 の E-Mail
 - 事務局連絡先/サイト管理者 2 の電話番号
 - サイト URL2
 - 雑誌の説明テキスト 2

##対象_雑誌_説明##

- 論文の転送先の雑誌の雑誌説明を出力します。
- 雑誌は、[管理者]>[サイト設定] で新しく作成した [雑誌の説明] フィールドを更新することを選択できます。

E-Mail 連絡先の設定

管理者センター名/サイト管理者: Workflow 1 Admin Center

管理者センター E-Mail/サイト管理者: qa-mc@mailinator.com

管理者センター電話番号/サイト管理者: Default Phone

管理者センターファックス番号/サイト管理者: Default Fax

編集委員長 名前: Workflow 1 EIC Contact

* 編集委員長 E-Mail: qa-mc@mailinator.com

* ここでは複数の E-Mail をカンマ (,) で区切ることができますが、返信についてはリストにある先頭のアドレスのみに送信します
 特殊文字は E-Mail フィールドに貼り付けないでください。さもないと、E-Mail が送信できない場合があります

雑誌の説明: Reza Khoshdel
 Level3, Department of Nephrology
 John Hunter Hospital
 Locked Bag 1
 Hunter Region Mail Centre NSW 2310
 Phone: (02) 4921 4321

E-Mail アドレスを持っていないユーザー用に使用する E-Mail アドレス: qa-mc@manuscriptcentral.

エラーの送信先 E-Mail アドレス: manuscriptcentral@manus

保存

GDPR ログインして、このアカウントを削除する

「ログインしてこのアカウントを削除してください」というテキストは、以下の E-Mail のフッターにハードコードされます。

- 管理者追加アカウント
- オンザフライ著者
- 投稿時の共著者アカウントの作成
- 管理者による共著者アカウントの作成
- オンザフライ編集者
- 査読者検索
- オンザフライ査読者
- 投稿統合によるアカウント作成
- ユーザーによるアカウント作成

[ログインしてこのアカウントを削除してください] をクリックすると、ユーザーはログインを求められ、直ちにアカウント編集プロセスのステップ 3 [ユーザー ID とパスワード] の [プライバシー ポリシー] セクションに移動します。

プライバシーポリシーの承認

この Web サイトを使用している際にプライバシー権について正しく知らされることを確認するため、以下にリンクされている当該のプライバシーポリシーを見直して承認してください。

[Journal policy](#) 

必須 はい。リンク先のプライバシーポリシーを読み、内容を確認しました。

いいえ、アカウントを削除します

アカウントを削除すると、そのユーザー名は投稿済み記事および査読には表示されますが、個人情報はこのサイトには表示されず、サイトにはアクセスできなくなります

必要なアクション: アクションは不要です。

エクスポートでのキーファイルサポート

Secure FTP (SFTP) を介した ScholarOne エクスポートは SSH キーファイル認証をサポートするようになりました。ScholarOne における SSH キーファイル サポートは特定の宛先に限定されませんが、Atypon ではまもなくシステムへのすべてのエクスポートにこの機能の使用が必要になるため、Atypon に直接エクスポートする ScholarOne 雑誌にとってこの機能は特に重要になります。

キーファイル認証を使用したエクスポートを設定するには、[設定] の [-一括処理の作成] ステップに移動して、新しいエクスポートの作成を開始するか、既存のエクスポートを編集します。[対象]> [場所] で、ドロップダウンを使用して場所を SFTP に変更します。既存の SFTP サーバーとユーザー ID を入力または確認します。次に「キーファイル」ラジオボタンを選択します。この選択で、「ファイルの選択」機能が有効になり、コンピュータから目的のキーファイルを参照して選択できるようになります。ファイルを選択したら、[アップロード] ボタンをクリックします。すると、関連付けられているキーファイルの名前が表示されます。



エクスポートの保存と使用を行う前に、[資格情報のテスト] ボタンをクリックして入力した場所と認証情報をテストする必要があります。



テストが成功すると、SFTP の場所の横に緑色のチェックマークが付き、エクスポートを保存して使用する準備が整ったことを知らせます。テストに失敗すると、ページにエラーメッセージが表示され、変更が必要であることを知らせます。



A.I. ツール（β 版）で検出されるキーセンテンスとキーワード

論文の選別を行うための β 版プログラムの一環として、著者および編集者では A.I. ツールによって論文内で検出されるキーセンテンスとキーワードが表示されます。また、A.I. ツールには、A.I. の学習を支援してその成果を向上させるオプションもあります。

著者でのキーセンテンスとキーワードの表示

著者では、学術発行に対する著者による支援情報を説明するキーセンテンスとキーワードがバナーに沿って表示されます。

📄 学術発行の未来を強化
投稿時に検出した以下の項目を評価することで、新しい人工知能ツールに学習させることができます。この機能により、著者の要約作成や、編集者の論文評価が容易になると期待されます。ユーザーのフィードバックは、投稿への決定には影響を及ぼしません。

キーセンテンスの評価 (ベータ) 📄

The reactions were performed in CD202/THF- α B the effect of the closed tweezers is not due to the Zn(terpy)Cl₂ (95%) at 300 K with 14 mol% catalyst and monitored by ¹H NMR in the closed tweezers but to the proximity in the NMR.

良い | OK | 不発

Description has been reported that high levels of the serum IL-6 are found in chronic hepatitis B (CHB) patients 48 It has been reported that IL-6 can directly inhibit cccDNA in HBV-infected HepG2-NTCP cells 49 and our results using LPS induced mouse model further suggested that elevated IL-6 can inhibit the expression of NTCP in inflammatory process, which may be another explanation for the better virological response to antiviral therapy in CHB patients with higher inflammatory activity.

良い | OK | 不発

Although it has been noticed for a long time that the nascent hepatocytes were protected from de novo infection or reinfection, the underlying mechanism was paramount but unsolved 10 12-14 It is plausible that both cccDNA dilution and loss during compensatory proliferation, and NTCP down-regulation mediated resistance of HBV infection in survival nascent proliferating hepatocytes play key synergistic roles to the efficient virological response to antiviral therapy in CHB patients and the spontaneous virus clearance during acute HBV infection (Fig 8).

良い | OK | 不発

上記のキーセンテンスが見つかりませんでしたか？ドキュメントに含まれるもっと相応しいセンテンスをここに挿入してください。

キーワードの評価 (ベータ) 📄

NTCP low expression-caused HBV reinfection resistance

良い | OK | 不発

NTCP promoter-sense: TGACAAGGGAGGAGTACAAGTAGCACCCAG, NTCP promoter-antisense: CCTCCGTGTGAGGCAGTGGAAAGACCCTCC

良い | OK | 不発

hepatocyte quiescence/proliferation translation Mouse hemihepatectomy model

良い | OK | 不発

Western blot analysis Western blot analysis

良い | OK | 不発

immune-mediated persistent HBV-infected cell death

良い | OK | 不発

ここにもっと相応しいキーワードを挿入してください。

編集者でのキーセンテンスとキーワードの表示

編集者では、論文詳細の新しい「分析」ボタンをクリックすると、キーセンテンスとキーワードが表示されます。新しいウィンドウが開き、ウィンドウ内にプルーフを表示する機能と情報が表示されます。

📄 HTML
📄 PDF
📄 補足ファイル
📄 原稿ファイル
📄 要旨
📄 カバーレター
🔍 外部検索
📄 分析

文書分析 (ベータ) 📄 印刷

ID: WRK4-2019-0038
タイトル: "A"

キーセンテンスの評価 (ベータ) 📄 編集

The reactions were performed in CD202/THF- α B the effect of the closed tweezers is not due to the Zn(terpy)Cl₂ (95%) at 300 K with 14 mol% catalyst and monitored by ¹H NMR in the closed tweezers but to the proximity in the NMR.

良い | OK | 不発

Description has been reported that high levels of the serum IL-6 are found in chronic hepatitis B (CHB) patients 48 It has been reported that IL-6 can directly inhibit cccDNA in HBV-infected HepG2-NTCP cells 49 and our results using LPS induced mouse model further suggested that elevated IL-6 can inhibit the expression of NTCP in inflammatory process, which may be another explanation for the better virological response to antiviral therapy in CHB patients with higher inflammatory activity.

良い | OK | 不発

Although it has been noticed for a long time that the nascent hepatocytes were protected from de novo infection or reinfection, the underlying mechanism was paramount but unsolved 10 12-14 It is plausible that both cccDNA dilution and loss during compensatory proliferation, and NTCP down-regulation mediated resistance of HBV infection in survival nascent proliferating hepatocytes play key synergistic roles to the efficient virological response to antiviral therapy in CHB patients and the spontaneous virus clearance during acute HBV infection (Fig 8).

良い | OK | 不発

In line with this, the p53-mediated inhibition of NTCP expression was itself inhibited by co-expression of HPV E6 gene, a viral protein which is known to promote the poly-ubiquitination of p53 and lead to its degradation (Fig 20); 21 Furthermore, when the p53 binding site in the NTCP promoter was mutated (Fig 2E), ectopically expressed p53 no longer inhibited NTCP promoter activity (Fig 2F).

良い | OK | 不発

上記のキーセンテンスが見つかりませんでしたか？ドキュメントに含まれるもっと相応しいセンテンス

キーワードの評価 (ベータ) 📄 編集

NTCP low expression-caused HBV reinfection resistance

良い | OK | 不発

NTCP promoter-sense: TGACAAGGGAGGAGTACAAGTAGCACCCAG, NTCP promoter-antisense: CCTCCGTGTGAGGCAGTGGAAAGACCCTCC

良い | OK | 不発

hepatocyte quiescence/proliferation translation Mouse hemihepatectomy model

良い | OK | 不発

Western blot analysis Western blot analysis

良い | OK | 不発

immune-mediated persistent HBV-infected cell death

良い | OK | 不発

ここにもっと相応しいキーワードを挿入してください。

必要なアクション: β 版への参加に関心をお持ちかどうかをお知らせください。

論文詳細リンクの更新

[論文詳細] の下にあるボタンは、最新の HTML リンクとアイコンになりました。

従来の [論文詳細] ボタン



新規の、現代的な [論文詳細] ボタン

この新しいバージョンでは、不要な疑問符ツールチップを削除するとともに、従来のボタンを高速ロードリンクに変えて、ボタンの現代化を図ります。また、サイトが A.I. 対応に設定されているときは [分析] ボタンも表示されます。詳細については、上記の「A.I. ツール (β 版) で検出されるキーセンテンスとキーワード」を参照してください。



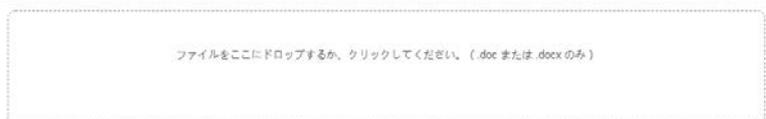
Metadata Extraction (β 版)

ScholarOne Manuscripts は、v4.25 リリースをもって Metadata Extraction β 版の本番運用を開始しました。1 つの簡単なステップで、著者はその原稿を Word ファイルとしてアップロードし、システムはタイトル、要旨、キーワード、著者、所属機関、および助成機関を文書から自動的に抽出することができ、データは所定のユーザーインターフェースフィールドに自動入力されます。

Metadata Extraction 投稿プロセス

データ抽出は既存の送信プロセスに直接統合されます。投稿者は「投稿の開始」をクリックして、ドラッグ&ドロップまたは従来の参照と選択プロセスで論文ファイルをアップロードします。

投稿フィールドに事前入力するには、以下の Microsoft Word ファイルをアップロードします。 [編集](#) [×](#)



または投稿フィールドに事前入力せずに続行する

ファイルのアップロード

このページから移動しないでください。アップロードが中断されます。

処理中: 投稿を処理しています。お待ちください。



キャンセル

ファイルが処理中であることを示すプログレスバーが表示されます。

抽出が完了すると、ユーザーは「論文タイプの選択」画面に移動します。
 この画面で、ユーザーはデータ抽出プロセスでタイトル、要旨、キーワード、助成機関、著者、および所属機関が自動的に抽出される（可能な場合）ことを確認できます。

☆作業が保存されました。

タイトルと要旨に関する高レベルの期待事項

- タイトルは論文からインポートされます。特殊文字が期待どおりにインポートされることをご確認ください。
- 短い要旨は [要旨] フィールドにインポートされます。特殊文字が期待どおりにインポートされることをご確認ください。
- タイトルまたは要旨が雑誌で規定されている最大長を超える場合は、全文がインポートされるため、ユーザーはフィールドの制限以内に収まるように短くする必要があります。

* タイトル

プレビュー Ω 特殊文字

50 ワード中66ワード

Better Management of Cardiovascular Diseases by Pulse Wave Velocity: Joining Clinical Practice with Clinical Research using Evidence Based Medicine Better Management of Cardiovascular Diseases by Pulse Wave Velocity: Joining Clinical Practice with Clinical Research using Evidence Based Medicine Better Management of Cardiovascular Diseases by Pulse Wave Velocity: Joining

* 要旨

要旨を入力して下さい

プレビュー Ω 特殊文字

200 ワード中165ワード

Background: Arterial stiffness, measured by "Pulse Wave Velocity" (PWV) is now accepted as a strong independent predictor of cardiovascular events and mortality. However lack of a reliable "reference interval" has limited its clinical practice role.
 Aim: In this evidence-based review we applied published data to develop a PWV risk stratification model and evaluate its impact on

ファイルアップロードに関する高レベルの期待事項

- 「文書を表示」に設定している場合、アップロードした文書は [ファイルアップロード] ステップで表示されます。
- [ファイルの指定] は、[投稿設定] での設定に従って表示されます。

ファイル

0.01 / 97.66 MB

順序	操作	ファイル	* ファイルの指定	アップロードした日付	アップロードしたユーザー
1	選択:	The efficacy of AI in Scholarly Publishing S1 Test.docx 13 KB	Main Document	2019-6-21	Lei Chen

キーワードに関する高レベルの期待事項

- 投稿者によるキーワードの追加を「許可」に設定している場合、ファイルに含まれるすべてのキーワードがキーワード領域に表示されます。
- 「特定のキーワードセットのみを許可」と設定している場合、この著者について、一致するキーワードは表示されますが、一致しないキーワードは表示されません。

1件必須。最大5件。

KEYWORDS	
Management	✕ 削除
Cardiovascular	✕ 削除
Diseases	✕ 削除

著者と所属機関に関する高レベル期待事項

- 著者と所属機関に関する取り込みデータは、アップロードされた論文ファイルに含まれるデータ量によって異なります。
- UIで利用可能なすべての著者フィールドはファイルアップロードに組み込むことはできますが、著者は通常その論文に情報一式を入力することはしません。
- 一般的には、名、ミドルネームまたはイニシャル、姓が入力されます。
- 所属機関は、一致が存在する場合は、Ringgoldに関連付けられます。
- アップロードしたファイルの情報が限られていても問題はありません。データ抽出システムは、利用可能なデータのみがインポートされるため、著者は必要に応じて情報を更新できます。

著者

* 著者リスト

	順序	操作	著者	所属機関名
↑ ドラッグ ↓	1	選択...	Smith, Jayne email@email.com	1. UVA Charlottesville, VA, USA 22903-1738
↑ ドラッグ ↓	2	選択...	Johnson, Joe email1@email1.com	1. Virginia Tech Blacksburg, VA, USA 24061-0131
↑ ドラッグ ↓	3	選択...	Jones, Sam email2@email2.com	1. VCU Richmond, VA, USA 23284-2512

🔄 著者の順番の更新

助成金に関する高レベルの期待事項

- 助成金が存在する場合、[助成機関名]と[交付/授与番号]に所定のフィールドが表示されます。
- 助成金機関が FundRef に組み込まれている場合、助成機関は投稿時に FundRef に自動的に関連付けされます。

助成内容

* この論文には報告すべき助成はありますか。

はい いいえ

助成機関

操作	助成機関	交付/授与番号
選択...	Agency for Science, Technology and Research > Data Storage Institute	987654321
選択...	Ministry of Health and Welfare > Korea National Institute of Health	1234567

Metadata Extraction の次のステップ

上記のように、Metadata Extraction のプロセスはまだ β 版の段階です。つまり、機能はしますが、面倒な作業をこなすロボット上でのビルドはまだ最終調整中です。v4.25.1 では、以下の更新が予定されています。

- さまざまなファイル指定のあるサイトを投稿グループの枠を超えてサポートします。
- 著者の E-Mail の取り込みなど、著者の取り扱いを改善します。
- E-Mail が既存の著者のアカウントと一致する場合、[著者ステップ] で登録アカウントを入力します（取り込みデータを表示するだけでなく）。
- 所属機関の取り扱いを改善し、不良所属機関の出力を制限します（可能な場合）。

必要なアクション: 設定の更新が必要です。

Ringgold アラート: 構成オプション

新しい構成オプションが追加され、雑誌で Ringgold アラートを無効にできます。管理者構成ダッシュボードで、「アラートを有効にして、Ringgold に接続していないアカウントを表示しますか（推奨）」という新しいオプションが表示されます。

Ringgold 接続アラートを削除するには、ボックスのチェックを外して保存するだけです。

ジャーナル基本設定	
デフォルトの国名:	<input type="text" value="アメリカ合衆国"/>
Print ISSN:	<input type="text" value="1234-5678"/>
Digital ISSN:	<input type="text" value="5678-1234"/>
ジャーナルの略称:	<input type="text" value="S1SDP"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 保存	

Ringgold アラート
<input checked="" type="checkbox"/> アラートを有効にして、Ringgold に接続していないアカウントを表示しますか？（推奨）
<input checked="" type="checkbox"/> 保存

E-Mail の一斉送信
<input type="checkbox"/> 検索結果にマーケティングオプトアウトのユーザーを含めますか？
<input checked="" type="checkbox"/> 保存

査読者がユーザーインターフェースの更新を拒否した

アカウントの作成時に、ユーザーがピアレビューを拒否することがあります。同様に、管理者権限を持つユーザーは、そのユーザーアカウントの編集時に査読からユーザーを除外できます。v4.25 では、ScholarOne Manuscripts に、選択、招待、および割り当てプロセスで査読者を選択できない理由を示す情報ホバーが追加されました。

The screenshot shows a search results page with the following elements:

- Header:** 結果 - 新規検索 - 検索条件の変更 - ソートの変更 (1-1 / 1)
- Search Criteria:** 検索条件: 名または姓 = "doctor"
- Table:**

氏名、キーワード、所属機関、ロール	現在 / 過去 12 か月	最終査読からの経過日数	平均 R スコア	追加
Doctor, Reviewer. Keyword 2 CCL ロール: 著者 査読者	0 / 0	0	0	+
- Right Panel:**
 - 検索オプションの表示設定
 - 改訂履歴: WRK4-2019-0024 (投稿日: 2019-6-8)
 - ▲ トップ
- Bottom Panel:**
 - 新規検索 | 検索条件変更 | 追加
 - CSV 形式でエクスポート | 結果 1-1 / 1
 - ▲ トップ

Tooltip: このユーザーは、雑誌の査読を拒否したため（または雑誌スタッフにより除外されたため）、選択できません。